



# Re:School

中学校再編に向けた  
取組状況をお知らせします

市内の児童生徒数は、少子化の影響で年々減少しています。教育委員会では子供たちにとってよりよい教育環境をつくるため令和7年11月に「気仙沼市小中学校再編計画」を策定しました。この計画では小学校は現状を維持し、中学校は現在の9校を4校に再編します。

## 再編具体化委員会について

新しい学校づくりに向けた具体的な検討と課題への対応を進めるため、令和7年12月に学校再編具体化委員会を設立しました。現在、全体会・各ブロック分科会・推進部会を開催し、協議を進めています。

## 再編具体化委員会の組織と協議内容

- 全体会** ▶ 校名・校章・校歌・制服・運動着など全市共通の事項を協議します
- 分科会** ▶ 通学・部活動・再編前交流・記念行事など再編ブロックごとに協議します
- 推進部会** ▶ 授業内容や生活のルール、整備など新しい学校づくりに向けた具体的事項を協議します

## 現在の取組状況 >>> 全体会

令和7年12月に第1回、令和8年3月に第2回全体会を開催しました。全体会は、教育長・中学校長・市PTA連合会代表・市コミュニティ・スクール連絡協議会代表者など17名の委員で構成されています。第1回では委員の委嘱を行い、委員長に面瀬中学校長の吉川泉氏、副委員長に気仙沼中学校長の佐々木伸氏が選出されました。

事務局（教育委員会）からは、学校再編計画の概要、再編具体化委員会の検討事項、今後のスケジュールについて説明を行いました。第1回では校名と制服について、第2回では校名・校章・制服について協議し、次のような方針が決まりました。

### 再編する中学校4校すべてを新校名とし、公募を行います

**校名** 新しい中学校の校名は、幅広い意見を集め、地域みなさんに親しみと愛着を持っていただけるよう、公募で決定することとしました。公募は、市内在住の方を対象に、4校まとめて募集します。実施時期は、学校設置条例の改正後を予定しています。

### 市内統一のデザインとすることが決まりました

**校章** 校章は、将来的な学校再編の動向と市内中学生としての一体感を育むため、市内統一のデザインとすることが決まりました。策定方法については、プロデザイナーが関わる方向性を支持する意見が多かった一方、子供たちや市民の意見を取り入れる機会を設けるべきとの意見もあり、策定期間を踏まえて引き続き協議を進めております。第3回全体会で方向性を決定する予定です。

### 制服は標準服を導入。アンケートへのご協力をお願いします

**制服** 再編後の市内全中学校に、新たにデザインした標準服を導入することが決まりました。標準服のスタイルは、2回のアンケート結果をもとに決定します。現在、第1回アンケートを実施しています。学校から配布（配信）されたチラシのQRコードから、ぜひ回答をお願いします。

対象：小学校5年生以上の児童生徒・小中学生保護者の皆様  
期間：4月13日（月）～4月24日（金）





令和8年1月～2月に第1回、3月に第2回の分科会を再編ブロックごとに開催しました。分科会は小中学校長・各学校PTA代表・学校運営協議会等代表者などの委員で構成されています。第1回では、通学方法・部活動・再編前の学校間交流について協議を行いました。第2回では、通学における安全対策についてワークショップを実施したほか、教室改修案や部活動アンケートの結果（令和8年2月実施）が事務局から示され、今後は推進部会で検討を深めていきます。また、記念事業については、これまでの学校統合の経験をもとに意見交換を行いました。学校設置条例の改正後、各学校のPTA・学校運営協議会・同窓会からご意見をいただきながら進めてまいります。

### 通学はスクールバスで対応します

再編によって新たな通学負担が生じないように、スクールバスを運行します。各ブロック分科会でも公共交通機関と比較した結果、全てのブロックでスクールバス運行が了承されました。スクールバスの運行については、以下のとおり計画しています。

#### <運行について>

- 発着場所は原則として、現在の学校施設（第1ブロックは唐桑中学校、第2ブロックは新月中学校、第3ブロックは面瀬中学校と階上中学校、第4ブロックは大谷中学校）を予定
- 自宅と発着場所の位置関係によっては、追加の停留所を設定  
発着場所までの距離が遠い場合は、スクールバスの発車起点の設置を検討
- 下校時は部活動への参加を考慮し、時間を変えて2便で運行



#### <乗降場所について>

- 再編先の中学校での乗降は、安全を考慮し学校敷地内またはその直近に設定
- 停留所までは基本的に徒歩で通学
- 保護者による車での送迎はやむを得ない場合



現在、適切なルート・停留所の設定に向け、スクールバスを利用する生徒の居住地を確認しながら、検討を進めています。

各分科会の委員からは、停留所までの送迎、始業時間との調整、通学路の安全対策など、地域ごとにさまざまな意見が出されました。今後は、通学路の災害ハザードや注意が必要な箇所を関係者間で共有し、安全対策・対応を検討していきます。いただいた意見を踏まえ、地域の実情に合った通学支援となるよう、引き続き協議を重ねていきます。

### 安心して学べる環境づくりに向けた施設整備

再編後も子供たちが安心して学べるよう、必要な改修を実施します。再編により新たに開校する学校において、共通して以下の整備を予定しています。

トイレの洋式化  
(温水洗浄便座の設置)

安全対策の強化  
(LED化、外灯増設、舗装他)

屋内運動場の  
熱中症対策

サポート室・特別支援教室の改修  
校内教育支援センター的機能向上

下駄箱・ロッカー・黒板・掲示板等  
必要な設備の整備

教室の活用方法や改修内容については、教員で構成される推進部会とも連携しながら決定していきます。

今後も具体化委員会の進捗状況を積極的にお伝えしながら、保護者のみなさまが安心して子供たちを送り出せる学校づくりを目指してまいります。

市公式ホームページ

詳細は  
こちら

